

要望事項 (優先順位 4)

地域特産チマキザサ再生事業への支援強化

要 旨

花脊別所町を中心に祇園祭の厄除けチマキ等を供給していたチマキザサが十数年前に開花とシカの食害により絶滅してしまいました。

現在、地域の特産品として再生するために、行政と大学、祇園祭関係者、地元自治会等で「チマキザサ再生委員会」を設置し対策を進めていただいているところです。

再生委員会の方針に基づき、地域の担い手団体である「花脊別所チマキザサグループ」が今年3月に設立されました。チマキザサの安定した品質の確保と祇園祭厄除けチマキや京菓子等の販売先の確保、活動の見える化と後継者の育成に取り組んでいます。

約7年を要するチマキザサの再生には、管理のできる里山に防鹿柵を設置することが必須です。引き続き、防鹿柵の設置をはじめとする再生事業に行政の支援強化を要望いたします。

回 答

(産業観光局)

防鹿柵については、チマキザサの再生のためには欠かすことのできない施設であることなどから、平成29年度から令和2年度の4年間にかけて、花脊別所町の約4haの山林に本市が試行的に設置いたしました。

その結果、良質なチマキザサを育てるための立地や、防鹿柵の形状、設置の方法等について知見が得られたことに加え、出荷再開に必要なチマキザサを収穫できる見通しが立ってきたところです。

今後、チマキザサの生産計画の策定や、防鹿柵の設置場所の選定、山林所有者の同意取得等に、地域の担い手団体が取り組まれることと考えておりますが、本市としては、「チマキザサ再生委員会」に参画する関係機関と連携し、必要な支援ができるよう努めてまいります。

(左京区役所)

チマキザサ再生事業につきましては、平成25年度に地域の皆様や大学関係者等とチマキザサ再生委員会を立ち上げ、これまで各構成団体により防鹿柵の設置や生育調査、機運醸成及び啓発活動、販路開拓などに取り組んできたところです。

今年度の取組としては、チマキザサ再生委員会の組織改編を行い、独自の事業を行うことが可能となったほか、市役所内に木の文化の推進・発展及び森林の有する多面的機能を最大限發揮させることにより、グリーン成長を促進する「木の文化・森林政

策推進本部会議」を設置し、「チマキザサ再生」についても課題解決ユニットの1つと位置づけ、全庁を挙げて木の文化森林政策を推進していくこととなりました。

花脊別所チマキザサグループの皆様のご尽力により、ようやく防鹿柵内のササが採取できる状況となり、チマキザサ再生の大きな弾みとなるものです。

チマキザサの再生が、左京区山間部振興の起爆剤となるよう、引き続き支援を行ってまいります。